

- I. 「あなたの首は、武器倉のために建てられたダビデの塔のようだ。その上には千の小盾、すべて勇士の大盾がかけられている」(雅 4:4):
- A) 首は、人の意志が神の下に降伏することを表徴します。主は、私たちの意志が降伏することを最も美しいことと考えます。
 - B) キリストの愛する者の美しさは、彼女のキリストに服従する意志にあり(ダビデの塔のような首)、この意志は防衛する力(小盾と勇士の大盾)に富んでいます: ①もし私たちが服従する意志、すなわち山にいるやぎの群れのように降伏している意志を持っているなら(1節後半)、私たちの意志はダビデの塔のように表現され、そこにはあらゆる種類の攻撃に抵抗する武器が収められています。
雅 4:1 見よ、わが愛する者よ、あなたは美しい! 見よ、あなたは美しい! あなたの目は、ベールの後ろにあって、はとのようだ。あなたの髪は、ギレアデの山に伏しているやぎの群れのようにだ。②キリストの愛する者は彼女の天然の意志から出て来ました。そして今や彼女は復活した意志の中で敵に抵抗して立っています。③私たちの意志が降伏すればするほど、ますます私たちは造り変えられます。④まず、私たちの意志が降伏しなければなりません。それから、それは復活の中で強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります: ⑤。霊的戦いのための武器は、私たちの降伏し復活した意志の中に保たれます。
⑥。敵の矢から私たちを保護する小盾と大盾は、主を尋ね求める者の降伏し復活した意志という塔の中に収められています。』
- II. 「わが花嫁よ、私と一緒にレバノンから、私と一緒にレバノンから来なさい。アマナの頂から、セニルとヘルモン頂から、獅子の洞穴、豹の山から見なさい」(雅 4:8):
- A) キリストの死と復活の経験は、尋ね求める者を彼の昇天の中へともたらしました。今や彼女はキリストの昇天の山頂におり、昇天の中に生きています。
 - B) キリストは、彼の愛する者を召して彼の十字架にとどませたように、彼女を召して昇天の中で彼と共に生きさせます: 雅 2:14 岩の裂け目、崖の隠れ場にいるわがはとよ、私に顔の表情を見せなさい。あなたの声を聞かせなさい。あなたの声は甘く、あなたの顔の表情は愛らしい。①キリストが彼の花嫁としての愛する者に求めるのは、彼の昇天(レバノン)、すなわち真理(アマナ)の最高峰から、またキリストの戦いにおける勝利の最高峰(セニルは「柔らかい武具」を意味する、ヘルモンは「破壊」を意味する)から、敵どもがいる天上の場所(獅子の洞穴と豹の山)から、彼と共に見ることです。②キリストの愛する者が昇天の中で生きているとき、彼女とキリストは一つの状態の中で、すなわち昇天の状態の中で生きて、夫婦となります。両者は命と性質において同じであり、互いに完全に符合しています。
 - C) キリストの昇天の中には彼の勝利があります。もはや戦いはありません。なぜなら、敵はずでに打ち破られており、私たちは柔らかい武具を着て、キリストの中で私たちの勝利を享受しているからです。祈りの地位は、昇天、すなわち天上の地位です。』
- III. キリストの造り変えられた花嫁は、復活における新創造としてキリストの昇天の中で生きることを通して、キリストの個人的な享受のための園となります。雅 4:12 わが妹、わが花嫁は、閉じられた園、閉じられた泉、封じられた源泉である。
- IV. 勝利を得た、キリストの愛する者は、神と一になって神の住まいとなると、神の目に美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのように。しかしながら、敵にとって、彼女は恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようです: 雅 6:4 わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである。
- A) キリストの愛する者は、主の御前で美しく、麗しく、天の都のように堅固であり、聖なる所のように穏やかです。同時に、彼女は敵と世の人の前で彼女の勝利の栄光を展覧します: ①軍隊が戦うとき、最も重要なものは武器です。勝利が得られたとき、最も重要なものは勝利の栄光を表徴する広げられた旗印です。②旗印は戦う準備ができていことを示しており、また勝利が得られたことしるしでもあります。
 - B) 幕の内側での生活は、主の御前での生活であるだけでなく、敵の前での生活でもあります: ①神の意図は、キリストの愛する者が天的な美しさを持っているだけでなく、戦う性質も持っていることです。②勝利を得た、キリストの愛する者は、希望に満ちた前途と、完全に天的な生活を持っているだけでなく、勝利の中で絶えず凱歌を歌う勝者でもあります。』
 - C) キリストの愛する者は愛すべきであると同時に、恐ろしくあるべきです。しかしながら、多くの信者たちは、主の御前で愛すべきであることと、敵の前で恐ろしくあることを失ってしまいました。
雅 6:10 夜明けの光のように見え、月のように美しく、太陽のように明るく、旗印を持った軍隊のように恐ろしいものはだれか?
 - D) 神の建造は常に軍隊です。私たちは主にとって都となると、敵にとって軍隊です: ①建造と霊的戦いは分離することができません。建造がある所には、戦いがあります。②戦いは常に建造と同行し、建造は常に戦いにおいて勝利をもたらします。③これがクリスチャン生活の完成です。キリストを愛し尋ねる者が到達することのできる最高の成就是、都となり、また軍隊となることです。
 - E) 恐ろしい軍隊が表徴するのは、主の勝利者が神の敵であるサタンを恐れさせるということです: ①サタンは、ただ一種類の人々、すなわち自分の魂の命を愛さない者たちを恐れます。②敵は、ベテル、神の家を恐れます。③敵は、神の都としての建造された召会を恐れます。④悪鬼と邪悪な天使どもは、キリストが十字架上で創造した一人の新しい人を恐れます。⑤サタンはたとえ個人主義的なクリスチャンが数千人いたとしても恐れませんが、キリストのからだとしての召会、すなわちサタンと彼の王国に対して戦う団体の戦士を恐れます。エペソ 6:11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。』
- V. 婚姻の日に、キリストは、長年にわたって神の敵に対して戦ってきた者たちと結婚します。すなわち、キリストは、すでに邪悪な者に打ち勝っている勝利者と結婚します: 啓 19:7 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。8 彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である。11 また私は、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。
- A) キリストは来て反キリストと彼の軍隊に対して戦うとき、人の子として来ます。また彼は人の子として、彼に符合して彼を完全にする配偶者を必要とします。この配偶者は彼の花嫁です: ①最終的に、勝利者は団体的に花嫁となってキリストと結婚します。彼らの婚姻の後、この花嫁は軍隊となって夫であるキリストと共に戦い、反キリストと彼の追従者たちを打ち破ります。②花嫁であるキリストは、私たちが円熟に到達したのを見るとき、花嫁と結婚し、それから彼女と共にやって来て反キリストと彼の軍隊を打ち破り、人の統治を終結させます。
 - B) キリストの花嫁を構成する勝利者は、神のすべての敵に対して戦い、彼らを打ち破ります: ①勝利者は、内側の敵であり最も難しい敵である自己に対して戦い、その霊の剣によってそれを殺します。その霊は神の言葉です。②勝利者は、反キリストの原則と反キリストの特徴に抵抗し、打ち破ります。③勝利者は、異なる教えに対して良い戦いを戦い、神のエコノミーを遂行します。④勝利者は、命が死に抵抗する戦いに従事して、命の中で王として死を支配します。⑤勝利者は、破壊するサタンの大混乱を征服し、建造する神聖なエコノミーの中で勝利を得ます。彼らは、現在の大混乱から救い出されるのではなく、すべてに十分な恵みとしての手順を経て究極的に完成された三一の神によって、大混乱を征服します。
- VI. キリストの愛する者は、キリストの命の円熟の中でシュラムの女となります。このことが表徴するのは、彼女がキリストの複製また複製写となって、彼にふさわしい者となり、彼と結婚するということです: 』
- A) 私たちが神格において神と同じであると言うことは、大きな冒とくです。しかし、もし私たちが命、性質、表現、機能において神と同じになることはできないと言うなら、これは不信仰です。聖書が私たちに繰り返して告げているのは、神の意図が私たちと一になり、私たちを彼と一にすることであるということです。
 - B) シュラムの女は、神の目に、二つの陣営または二つの軍隊(ヘブル語「マハナイム」)の踊りにたとえられています。ヤコブは神の御使い、すなわち神の二つの軍隊を見た後、自分がいた所をマハナイムと名づけ、彼の妻たち、子供たち、所有物を「二つの軍隊」に分けました:

雅 6:13 「帰れ、帰れ、シラムの女よ。帰れ、帰れ、私たちはあなたを見たい。」「どうして、あなたがたはシラムの女を見るのか？ 二つの陣営の踊りを見るように」。創 32:2 ヤコブは彼らを見た時、「これは神の陣営だ」と言った。そこで彼はその場所の名をマハナインと呼んだ。①二つの軍隊の霊的な意義は、キリストのからだの原則にしたがって、私たちが愛してくださった方を通して、私たちが勝ち得て余りがあり、「超絶した勝利を得る」という強い証しです。②神は自分自身の中で強い者たちを欲していません。彼は弱い者たち、すなわち比較的弱い女と子供だけを欲しています。③神は彼と一である人、彼に服従し(編んだ髪で表徴される—雅 1:11)、柔軟な意志を持って彼に従う(宝石の首飾りのある首で表徴される—10 節)人を必要とされます。④勝利者となるのにふさわしいとされる人は、主に依り頼む比較的弱い人です。⑤私たちはどのように神聖な啓示の最高峰に到達するかを考察するとき、自分自身に信頼するのではなく、愛、力、あわれみである主に依り頼むべきです。そして私たちはあわれみの器、尊さの器、栄光の器とされます。』

経験①: 霊的戦いにおいて、私たちの意志が神に完全に降伏していなければならない

雅歌は愛について語っているだけでなく、意志の服従についても語っています。完全で、十分に、徹底的な造り変えを持つためには、意志が服従させられなければならない。私たちの意志が服従させられればさせられるほど、私たちはますます造り変えられるでしょう。私たちの多くは主を愛していますが、私たちは依然として私たちの意志を保持しています。私たちの観念は変えられており、私たちの思いは新しくされていますが、私たちの意志は降伏する必要があります。私たちの多くはとても頑固です。これは、兄弟たちだけではなく、姉妹たちもです。問題は私たちの心にあるものではありません。私たちは確かに主を愛しています。私は過去二、三か月の間に、「主イエスよ、あなたを愛します！」と言う多くの声を主は聞かれたと信じます。しかし、主はこれらの声に答えて、「そうだ、あなたが私を愛していることはわかっている。しかしあなたの意志はどうか？」と言うと私は信じます。私たちの観念が変えられるだけでは十分ではありません。私たちはさらに進んで、私たちの意志が降伏しなければなりません。…円熟は意志の降伏によって到達します。

在職青年編

霊的な戦いにおいて、また命の円熟において、あなたの意志が神に降伏していることがとても重要です。ヨシュア記6章の良き地を所有するためのエリコの破壊に関する御言葉を読んでください。ヨシュア6:3 あなたがた勇士はみな、町を巡り、町の周囲を一度回らなければならない。こうして、あなたは六日の間、そのようにしなければならない。4 七人の祭司たちが雄羊の角の角笛七本を持って、箱の前を行かなければならない。そして七日目には町を七度巡り、祭司たちは角笛を吹き鳴らさなければならない。5 祭司たちが雄羊の角を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞くと、民はみな大声で叫ばなければならない。町の城壁が崩れ落ちたなら、民はそれぞれ真つすぐ上で行かなければならない。6 そこで、ヌンの子ヨシュアは祭司たちを召して彼らに行つた、「契約の箱を担ぎ上げなさい。七人の祭司たちは雄羊の角の角笛七本を持って、エホバの箱の前を行きなさい。7 彼はまた民に言った、「進んで行き、町を巡りなさい。武装した者たちにエホバの箱の前を進ませなさい。8 ヨシュアが民に語ったとき、七人の祭司たちは雄羊の角の角笛七本を持ってエホバの御前を進み、角笛を吹き鳴らした。エホバの契約の箱は彼らの後を行つた。10 ヨシュアは民に命じて言った、「あなたがたは叫んではならない。あなたがたの声を聞かせてはならない。一言も口から発してはならない。私があなたがたに『叫べ！』という日まで。その時に、あなたがたは叫ばなければならない」。FT1: 神の民はエリコを破壊するために何も行う必要はありませんでした。彼らはただ神を信じ、神に信頼し、イスラエルの軍隊の将軍からの指示に聞き従い、契約の箱を担ぐことによってキリストを高く上げる必要がありました。ここで祭司たちが契約の箱を担ぐことは、霊的な戦いにおいて、私たちが行なうべき第一のことは、キリストを高く上げることであることを見せています。FT2: ここで叫ぶようにこの主の命令が出るまで黙ったままであることは、主の方法で事柄を完成し、何の考え、意見、感覚も発表しないことを意味します。

あなたはビジネス・ライフにおいて、霊的戦いを戦うために、あなたの意志が神に絶対的に服従していなければならない。服従しないなら、エリコにおける神が指示した戦い方は天然のあなたには受け入れられないので、自分の天然の意見を発表し、あなたのエリコの戦いを戦うことはできません。その結果、あなたはいつの間にかサタンの子供となり、神の臨在と祝福を失っているでしょう。神に服従することを学び、神の軍隊に入りましょう！

経験②: 自分のベストを尽くして、主の言葉と主の御名を保持することで、霊的戦いを戦う

ヤコブは神の二つの軍隊を見た後、不思議な事を行ないました。彼は妻たち、子供たち、彼の所有の残りを二つの組、あるいは「二つの軍隊」に分けました。彼は、もし兄エサウが一つの組を攻撃しても、もう一つの組は殺害を逃れられると思いました。これは霊的な意義に満ちています。この二つの組は、神の単一の「軍隊」ではなく、「二つの軍隊」です。これは、私たちが征服者以上であることを意味します。それはまた強い証しを表徴します。神は「巨人」を欲しません。彼は弱い者たち、すなわち比較的弱い女と子供だけを欲しています。彼らは神の軍隊となることができません。なぜなら、戦いは彼らの手にあるのではなく、神の御手にあるからです。神は彼と一である人、彼に服従し(編んだ髪で表徴される—雅 1:11)、柔軟な意志を持って彼に従う(宝石の首飾りのある首で表徴される—10 節)人を必要とされます。

私たちは、どのようにして雅歌の啓示の最高峰に到達するかを考察するとき、自分自身に信頼すべきではありません。私たちは、使徒パウロは強いので、それができたと考えるかもしれませんが、ところが、使徒パウロ自身が、彼は聖徒たちのうちで最も小さい者よりも小さいと言っています(エペソ3:8)。彼は、「だれかが弱っているのに、私が弱らないでおれましょうか？(IIコリント11:29)」と言っています。…ローマ人への手紙第9章16節で、パウロは言います、「それは人が決意することによるのではなく、走ることに由るのではなく、神があわれみを示されることによるのです」。私たちは自分では走ることができると思うかもしれませんが、私たちにできないのです。走ることができるのはキリストです。パウロはまた言います、「生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」(ガラテヤ2:20前半)。自分自身にあつて強い者はみな、淘汰されるでしょう。…主に依り頼む…比較的弱い人が、勝利者となるのにふさわしいものとされるでしょう。…啓示録第3章8節で、主はヒラデルヒヤの者たちが、「少しばかりの力」を持っていると言われました。…この二つの軍隊がヤコブの妻たちと子供たちから成っていたことを、覚えていてください。最終的に、彼らのだれも、エサウと戦いませんでした。神が、エサウの態度を変えることによって、彼と戦われたのです。

中高生編

あなたは自分が中高生なので、自分は霊的戦いとは関係ないと考えてはいけません。神が欲している軍隊は、「花嫁軍隊」であり、「女・子供軍隊」です。自分自身の中で強いものは決して神の軍隊に参加することはできません。啓3:8 私はあなたのわざを知っている。見よ、私はあなたの前に、誰も閉じることのできない門を開いておいた。なぜなら、あなたが少しばかりの力を持っていて、私の言葉を守り、私の名を否まなかったからである。FT: 主を喜ばせるのは、彼のために多くの事をするのではなく、私たちの持っているものを持って、彼のために最善を尽くすことです。あなたはまだ弱い青少年であっても、自分のベストを尽くして主の御言葉を祈り読みし、生活に適用し、主の御名を呼び求め、高く上げてください。特に、戦いにおいて、以下の重要な点に注意を払い、実行してください。

- i. 毎朝復興: 人間の体や心を健康に保つために、あなたは早寝早起きを実行すべきです。さらに、クリスチャンであるあなたは朝早く起きて主の御言葉を読み、祈り読みしてください。これが霊的戦いのための基本的な要求です。
- ii. 日々勝利: あなたが読んだ聖書の言葉は単なる道理ではなく、実際です。神の言葉は生きていて、効力があるのですから、必ずあなたの学校生活に御言葉を適用して、実際的にキリストを経験し享受してください。また、主の御名を呼び求めて主があなたにとって豊かであることを経験してください。
- iii. 召会生活: 召会はキリストのからだであり、一人の新しい人です。この新しい人は神の軍隊でもあります。ですから、あなたは兄弟姉妹との交わりや小組集会、主日集会などに参加して、召会生活を実行してください。